

私が目指すもの

盛岡ヘアメイク専門学校 中崎 みどり
(岩手県盛岡市)

美容師という職業は、お客様を外見だけでなく内面も美しくすることができる素晴らしい、魅力のある職業だと私は思う。なぜなら自分が望むヘアスタイルにしてくれるだけでなく、接客を通し笑顔で接したり、髪への悩みへのアドバイスやアレンジの仕方を教えてもらったりと、少しの会話から心地のよい気分になり気持ちが満足するからだ。

そんな美容師になりたいと思ったきっかけは、美容師の親戚がいたからである。私がまだ小学校に入る前、親戚の美容室を訪れたとき、まるで魔法をかけているかのような光景を見た。人の髪をはさみで切って、さらに細い棒のようなものを何本の髪に巻きつけ、水のような変なにおいがする液体をかけていた。私は、どうなるのだろう？と不思議に思うと同時に好奇心が湧き、わくわくしていた。何分かしてタイマーが鳴り、今度は違う液体をかけ、さらに放置していた。ずいぶん時間がかかるなあと思ったが飽きはしなかった。それよりも、このあとどうなるのか気になって気になって仕方なく、さっきよりもわくわくがいっぱいになっていた。タイマーが鳴り、頭にくっついている棒をものすごい速さで一本一本はずしていった。すると、さっきまでまっすぐだった髪の毛がなんと、くるくるになったのだ。私はとてもびっくりした。そして、人の髪の長さを変えるだけでなく、形までも変えることができる美容師という仕事はすごいなあと感じ、ますます興味が湧いたのである。

それから休みの日になるとしょっちゅう親戚の美容室に行き、お婆の施術しているところを見ていた。髪の色を変えたり、マッサージをしたり、シャンプーをしたり、見てるだけでも楽しくて、気がつくと一日中美容室にいた。髪を上手に切るだけでなく、絵を描くことも、ネイルアートをすることも上手だったお婆が大好きで憧れだった。小学生の頃には、いろんな髪型にしてもらったり、無理を言ってパーマをかけてもらったこともあり、私も美容師になりたいと強く思った。高校を卒業するまでよくお婆の美容室に行っていた。“美容師は手荒れする

し、腰は痛くなるし大変だよ”と言われ進路に悩んだこともあったが、やはり小さいころから憧れていた美容師になりたい気持ちが強かった。そのことを言ったら、“将来、一人前になったらこの美容室を継いでもらおうかな”と言われ絶対にお婆のような美容師になろうと決心した。

専門学校に入学し、ワインディングやカット、オリジナルウェーブ、アップ、シャンプー、校外実習を通し美容師への一歩を踏み出すことができた。校外実習ではお婆の美容室でも実習を行った。そこで感じたことは、やはり美容師という仕事は容易ではないということだ。失敗することもあったが、お婆は優しく励ましてくれた。“よし！めげないでがんばろう。”そう決意し勉学に励む矢先の事、3月11日に東日本大震災が起きた。お婆の美容室は海からとても近いところにあり、お婆が無事なのかとても心配した。震災から三日後、お婆は無事だと知らされ、本当に安堵した。しかし、美容室は流されてしまい取り壊されると聞いたときは涙が止まらなかった。お婆は、美容室の付近から一生懸命探し、ようやくシザーを見つけ大事に保管していた。しかし、また美容室を再開させるのは難しいと聞き悲しくなった。だが一番悲しいのはお婆なんだと思うと心が苦しくなった。

私は決心した。将来、宮古市に美容室を立ててお婆と一緒に働きたい。それが今の一番の夢だ。そして、今生きていること、自分の周りで支えてくれているたくさんの人に感謝することを大切に、お婆のような美容師になれるよう努力していきたい。何年後になるかまだわからないが、必ず夢を叶えたい。